

事業所における自己評価結果

公表

事業所名	合同会社ココロおき楽		公表日		R8年 5月 6日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	3	・児童に合わせた活動を行うことで、空間を上手に分離している。また、けがにならないように、児童の動きも想定した活動をおこなっている。 ・児童が怪我をしないように声をかけを工夫したり、スペースの広さを意識しながらの活動が考えられていると思います。	・児童の人数が増えてくると、スペースが狭くなってきており、ケガにつながりやすいと感じている。 ・狭いように感じます。児童が活動している際にスタッフが周囲を通りづらい時があります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	2	・1対1でつくことができるように配置している。	・職員が休みを取ったときなど、人員調整が出る場面がある。 ・児童に対して職員が多い時に、どう仕事を割り振りをするか。 ・職員の配置数
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	4	・デイ来所時のルーティンワークを視覚化して行動しやすい環境設定にしている ・マグネットや絵カードを使って活動の流れが分かる様になっている。 ・ルーティンの際に磁石を移動しながらこどもたちも移動する形式はこどもたちにとって行動しやすく、とてもいいと思います。	・特性を持った未就学児にはあっていない設備。 ・動いた児童が机に頭をぶつけるなど、怪我につながる要素がある。 ・まだまだ改善の余地あり。 ・トイレは年齢が低い児童が座りづらさがあります。またドアを開けて一人で入りたがる年齢の子もいるため、工夫が必要だと感じます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	2	・清掃は改善されている。 ・椅子や机の配置を減らすなどでスペースを確保できるように工夫している。 ・掃除当番の割り振りができていると思います。	・子どもたちの合わせた環境ではないので活動が限られている ・スペースが狭く、体を動かす活動がしづらい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	3	・キッチンを着替えの場として使うなど。 ・切り替えをしたい場面ではベランダを使ったり、散歩に出かけたりなど事務所の外を使っている。 ・個別の部屋はないが集中できるようなデスクの準備などはある。	・個別で少し離れることはできるが空間自体を完全に区切るのは難しいので、今後改善が必要。 ・場所に関しても今後の課題。 ・落ち着ける場所（個別の場所）がつかれていない現状だと思います。パーテーションなどを用いて仕切れる環境づくりを考えていきたいです。 ・クールダウンする場所など、完全に仕切られる空間が必要
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	0	・毎週の定例ミーティングや児童受け入まへのミーティングでスタッフでしっかり情報共有出来ている。 ・朝や昼のミーティングや週一の会議をもとに、振り返り等を行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	・事業所全体で前回のアンケート結果を振り返る場を設けることができたと思います。	・12月に保護者も参加する交流会を開催したがそれ以降の計画はまだ立てていないので保護者交えた行事などは年に何回に取り組みかを考えていきたい
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	・定例ミーティング等で業務改善が出来ていると思う ・雑談を意見交換の場として使っている。 ・意見や要望を書くためのホワイトボードを設置した。 ・毎日のミーティング、個人面談や職員アンケートがあることで従業員の意見が反映できていると思います。毎日のミーティングは職員が声をあげやすい環境だと思っています。	・全体で共有するタイミングがなかなか取れないため全体での把握にギャップを感じる。 ・ミーティングの場は設けられているが、個人間ですでに話し合っで決定したり、それについての共有が見られない場合がある
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	4		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1	・月1で定例会議を行うことで、研修の時間を確保している。	・未就学児への対応や発達障害への研修なども受講していきたい。 ・確保されていると思いますが、資質向上に向け、研修機会がさらに多くあると嬉しいです。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0		・支援プログラムがまだ模索中なので環境づくりと平行に取り組んでいく必要があると感じる ・作成されていると思います。しかし保護者への事前公表はなかなかまだできていない段階かと思っています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0	・木曜ミーティングの際に、児童発達支援計画の見直しを全体でできていると思います。	

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	・個別支援会議を通してアセスメントを共有し支援計画に反映させている。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	・ディロボを取り入れたことで日々の記録の際に計画に沿った支援を意識しやすいです。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	2			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	3		・立案にはまだ偏りが見られる。全員で取り組んでいけるようにしていきたい	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	・大まかなプログラムは決まっているが児童の特性や当日の様子などに合わせて変動は出来ていると感じる。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1	・支援前のミーティングで担当児童や配置を相談し、スムーズに開始できるよう工夫している。	・打ち合わせは行っているが、シフトの関連で順番のスタッフには簡単にしか説明が出来ていない。活動スケジュール表は作って入るが目を通す機会が少ないように感じる。週初めにこの週の大まかなプログラムの説明を入れてもいいのかなと感じた。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	活動前のミーティングで振り返りをしっかり取り組むことができている。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0			
	関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0		
		25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	3		
26		併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1	・保育園との情報共有などは送迎時を通して連携できていると感じる。モニタリングなどの会議には保育園が不参加のことが多いので資料などを配布してしっかりと連携を取り組んでいきたい。		
27		就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1	・移行前に担当者会議を設定しスムーズな情報共有・連携が行えるようにしている。		
28		(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
29		質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。					
30		(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 (31は、事業所のみ回答)					

	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	4		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	8		・事業所と地域の子と交流するようなイベントは参加したことないです。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	・デイロボの連絡帳や電話、送迎時に対面したさいにしっかりと児童の様子や課題の面など保護者支援も視野に入れながら取り組んでいることが出来ていると感じる。 ・従業員それぞれが意識し、取り組んでいると思います。中でも管理者がとても丁寧に対応してくれていると思います。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	6		・これから計画をしていく
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	1		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	3	・親子交流会を実施し、保護者同士で交流できる場を設けた。 ・年度末に親子参加の会を開いた。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0		・SNSの運用もスタッフが固定化になっているので、一人の職員に負担にならないように全体で取り組めるようにしていきたい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	8		
非常時	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	2		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	2		・1度だけ実施して流れてしまったので計画や回数などもしっかり取り組んでいきたい。 ・以前より行っているかと思いますが年に3回（火事、不審者、地震津波）程は実施する必要があるかと考えます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	1		・対面で確認はしているが、健康チェックシートなどの作成はまだできていない。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1		・おやつ等の配布がないのでしっかりと取り組んではいない。アレルギーの把握の一覧なども作っていきたい。 ・事業所で対応しているが、医師の指示書はない ・現時点でアレルギー対応の児童がいないが必要に応じて対応予定。

時 等 の 対 応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	3		・細かい部分は、まだ改善の必要がある。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	3		・早めに周知できるようにする
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	・現在、ヒヤリハットの浸透に向けて動いている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	1	・身体拘束がダメということになり、基本的には身体拘束をしないという説明をしている ・身体拘束をすることなく運営できている。必要に応じてしっかりと説明と了解を得て計画にも反映させていく。	